

講座テーマ

「病とこころ」

今年度の神戸大学文学部公開講座は、「病とこころ」と題して4つの講義をお届けいたします。

昨年来我々を悩ませ続ける疫禍は、世界中の人々の身体、そして心を蝕んできました。感染症は罹患者の身体を冒したばかりではありません。防疫策としてのロックダウン・行動制限は、全ての人々の心に重くのしかかり、目に見えぬウィルスの拡大は、社会全体に不安と疑心暗鬼の雰囲気蔓延させました。こうした現象に対して人類はどう対処してきたのでしょうか。私たちはどう向き合っていくべきなのでしょうか。たとえ今般の疫禍が終息しようとも、この問題は今後、私たちが常に向き合い続けねばならない問いとなるでしょう。

本年度の講義はこの問題に対して、多種多様な人文学諸分野の中でも西洋現代史、社会学、社会心理学、フランス文学、それぞれのアプローチで迫ってみたいと思います。現在、私たちが置かれた状況を俯瞰的に把握し、これからのことを皆さんとともに真摯に、多角的に考えてゆく、そうしたきっかけになればと願っています。



2021年10月2日(土)

13:30-13:40	開講挨拶	文学部長	長坂 一郎
13:40-15:10	感染症と冷戦：エイズをめぐるソ連国家保安委員会（KGB）の情報活動	准教授	藤澤 潤
15:20-16:50	パンデミックの中で考える現代社会の「ケガレ」観	准教授	酒井 朋子

2021年10月9日(土)

13:30-15:00	コロナ禍と社会的孤立	講師	柳澤 邦昭
15:10-16:40	露の世ながら 理不尽な死を超えて書くフランスの作家たち	教授	中畑 寛之

※ 今年度の文学部公開講座は、新型コロナウイルス感染症の感染状況を踏まえ、Web 会議システムの ZOOM を使用して開催します。ZOOM 利用のマニュアルをホームページに掲載し、本番前にテストミーティングも実施しますので、ZOOM が初めての方も、ぜひご参加ください。

※ 詳しい情報は文学部ウェブサイト (<http://www.lit.kobe-u.ac.jp>) の公開講座のページをご覧ください。

受講対象者：一般市民・学生 募集人数：150 名 受講料：無料

申込期間：2021年8月20日(金)～9月24日(金) (但し定員になり次第受付を終了します。)

申込方法：文学部ウェブサイト (<http://www.lit.kobe-u.ac.jp>) の申込みフォームから、お申し込みください。

★お申し込みの際に記入いただいたメールアドレスに、ZOOM のリンク等をお送りします。

問い合わせ先：神戸大学大学院人文学研究科総務係

〒657-8501 神戸市灘区六甲台町 1-1

E-mail: lsoumu [at] lit.kobe-u.ac.jp ([at]は@に変更してください)

TEL: 078-803-5591 <平日 8:30～17:15 / 土日祝を除く >